

小中一貫教育、CS・地学協働のさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO. 76 R8. 1. 27

幕別町教育委員会 学校教育推進員

学園事務局訪問で伺ったお話から、いくつかの取組をピックアップ・・・

No.76 は【糠内学園】についてお伝えします！

糠内学園

地域・学校間の強い連携

地域の方々の「心強い援え」



CSについて「まずは知ってもらうことから」という強い思いのもと、学校運営協議会長自らが学園内の各校に出向き、取組の目的や内容についての説明を行いました。学園の活動が少しずつ地域に浸透してきた理由として「熱意とフットワークの良さ」も大切な要因として挙げられます。

「ギャップをなくす」ための様々な取組

糠内学園では小6の「中学校体験登校」を年間36時間行います。「『慣れ』を『安心感』につなげたい」という考えのもと行われているこの取組は、中1ギャップを生まないための工夫です。実施の充実に向けては、小中間での密な打合せが支えとなっています。



秋恒例の「糠内学園マラソン大会」は小中合同で行われています。保護者の皆さんにも見守られながら温かく大きな声援が飛び交う中、力走する姿が青空の下で輝きます。小中の子どもたちが互いに励まし合う中で心の交流が生まれ、垣根もどんどん低くなっていきます。

鹿児島県の学校との異文化交流は学校運営協議会での「思い」が「形」となって表れた結果です。熱意溢れる地域の手厚いサポートも糠内学園の大きな特色の一つです。